

5 分間ファイヤー・ドリル

〔 屋内消火栓（起動ボタン付き）による消火訓練 〕

< 最低必要訓練人数 = 3人 >

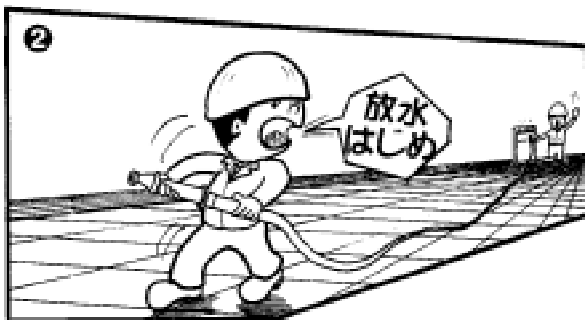
実際に消火栓を使って放水訓練を行うときは、必ず消防の指導のもとに、放水による汚損等のおそれのない安全な場所で行うようにしましょう。



「火事だ！火事だ！」と叫びながら屋内消火栓まで走り、消火栓の扉を開きポンプの起動ボタンを押します。

消火栓の設置場所を確認しておきましょう。

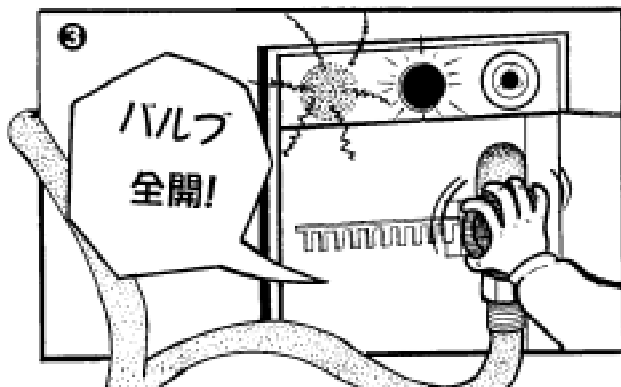
ポンプが起動すると表示灯が点灯するので必ず確認しましょう。



さんは、ノズルを持ちボックス内のホースを取り出して火炎に向かって進みます。

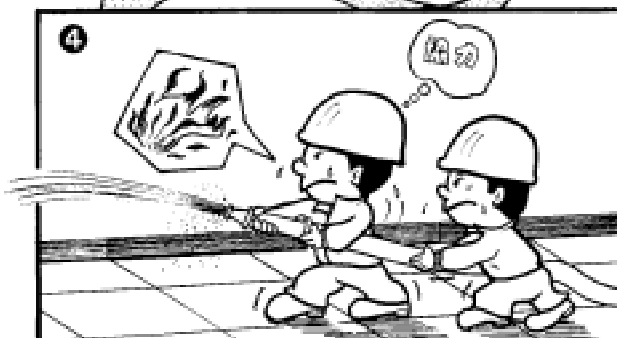
消火に適した場所に到着すると「放水始め」と さんに合図します。

操作は、2人で行いますが、他の1人は、安全確保を担当します。



さんは、 さんのホース展開を補助し、「放水始め」の合図があったら消火栓のバルブを全開にします。

ホースに“折れ”“ねじれ”がないように展開しましょう。

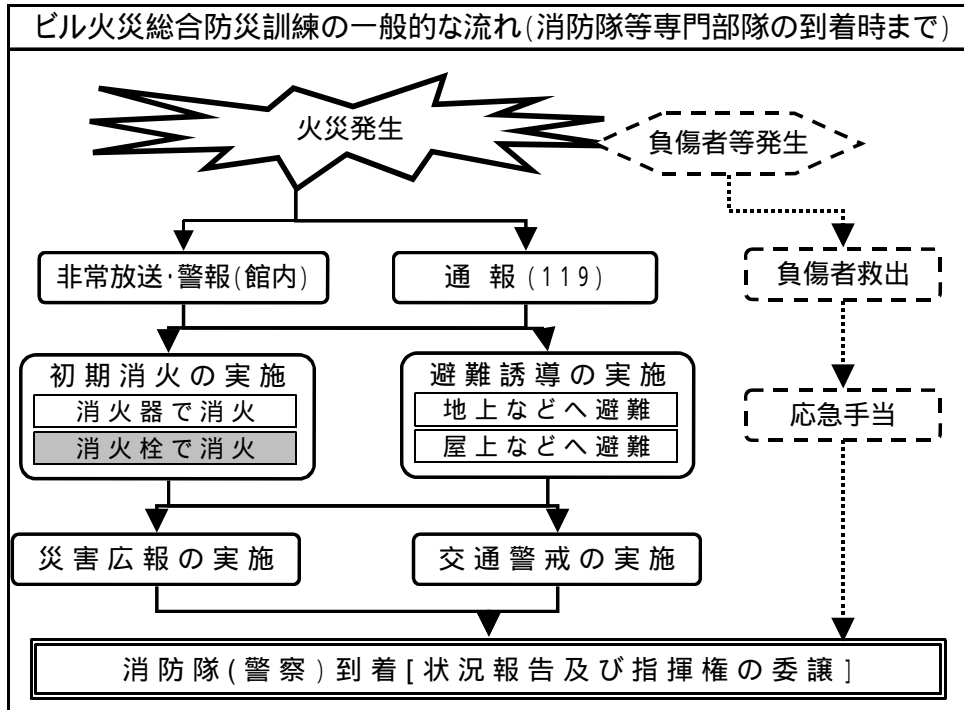


二人で協力しながら消火活動を行います。

放水中は、ノズルを絶対に手放さないようにしましょう。

訓練終了後は、必ずポンプ室の制御盤でポンプを停止しましょう。

「屋内消火栓による消火訓練」は、次の図のハッチング部分です！



訓練実施上の安全点検チェックリスト

平成 年 月 日実施

	点 検 項 目	確認欄
訓 練 前	・訓練実施者の健康状態は良いですか？	
	・訓練実施者の服装は良い(手袋・保安靴・保安帽・運動できる服装等)ですか？	
	・消火栓の表示灯は、点灯していますか？	
	・消火栓のホースやノズルに破損等はないですか？	
	・訓練実施場所は、安全な場所(転落、転倒のおそれなし)ですか？	
	・訓練実施場所は、十分な広さがありますか？	
	・訓練実施者の準備運動は、済みましたか？	
訓 練 中	・安全対策要員の配置は、適当ですか？	
	・訓練実施者の行動に不安定さ(無理した行動など)はありませんか？	
	・二人の連携(合図や補助)は、うまく取れていますか？	
	・消火栓の使い方は適当ですか？	
訓 練 後	・火点に近づき過ぎていませんか？	
	・訓練実施者の健康状態は良いですか？	
	・訓練実施場所の状況は、適当(汚染等なし)ですか？	
	・消火栓を元の状態(ホース、ノズル、バルブなど)に戻しましたか？ (ポンプを停止(ポンプ制御盤で行う)しましたか？)	

：実際に水を出して訓練をするとき、特に注意しましょう。

= さあ！ 訓練をやってみよう！ =